

# 24年度 入学試験要項



東京千代田区富士見  
日本歯科大学新聞会  
発行兼 中原 泉  
発行人 偶数月末日  
発行日 1部10円  
発定 編集室 (〒951-8580)  
新潟市中央区浜浦町1-8  
☎ 025 (267) 1500



本学のシンボルマーク

## 全学部入試を実施

本学は、平成二十四年度の日本歯科大学入学試験要項(生命歯学部・新潟生命歯学部)を公表した。(入学試験要項と試験日程は二面に掲載)

一般入試は2月1日・発表は4日

学力試験は英・数・理の三科目  
平成二十四年度の一般選抜入学試験と「大入試センター利用入学試験」とも、各々前期日程と後期日程により実施する。出願の受け付けと試験会場は、東京富士見の生命歯学部で行う。

一般前期・センター利用前期・一般後期・センター利用後期入学試験は各一回の受験により、生命歯学部(東京)と新潟生命歯学部の両学部で志願できる。両学部で合格した場合には、どちらの学部を選ぶかは自分で選べる。

一般前期入学試験は、二月一日に英語・数学・理科計三科目の学力試験と面接試験を行う。募集人員は生命歯学部(東京)約六十八名、新潟生命歯学部約二十名。東京富士見の生命歯学部に出願し、同学部で学力試験と面接試験を受験する。二月四日午前十時に生

命歯学部合格者を掲示し、合格発表日には本学ホームページに合格者の受験番号を公開する。センター利用前期試験の募集人員は、生命歯学部約二十五名、新潟生命歯学部約十名で、志願者は平成二十四年一月十四・十五日の大学入試センター試験で、本学指定の試験科目を受験したのち、二月五日に生命歯学部で面接試験を受験する。合格発表は二月七日。なお一般後期入学試験は、三月三日に学力試験と面接試験を、センター利用後期試験は三月十三日に面接試験を、いずれも生命歯学部(東京)において実施する(二面参照)。

☆両短期大学で推薦と一般入試実施  
東京短期大学の歯科技工学科、歯科衛生学科は、本年十一月十二日に推薦入学試験を、一般入試入学試験を平成二十四年一月二十二日に実施。一般B入

## 点景・附属病院の新築工事 (1986年秋飯田橋)



飯田橋駅西口・ラムラ住宅棟より九段方向、右に警察病院が見える現在、西口では再開発工事が進み、2014年には新しい環境が出現する

### 日野市・石原先生写真集出版

本学第五十七回卒の石原正道先生は、このほど写真集「AMERICAN SOUTHWEST」Pに掲載

を日本写真企画社から出版した。石原先生は昭和五十年から東京の日野市で歯科医院を開業。フォトグループ「こもれび」を取った作品世界は、自然が作り出した造形美を丹念に描き出したと、高く評価されている。写真集の刊行にあわせ、九月初旬には銀座五丁目目フレームマンエキシビジョンサロン銀座で写真展が開催された。



最終講義の相山教授

長・理事長はじめ百三十名余が出席した。相山教授は弘前大学理学部卒業後、山形大学医学部を卒業し、

## 相山(東京)、末高(新潟)教授退任

生命歯学部解剖学第二講座の相山誉夫教授と新潟生命歯学部衛生学講座の末高武彦教授は、今夏退任し、最終記念講義が行われた。

相山教授の最終記念講義は、七月七日午後五時から九段ホールで開催された。「最終講義に臨んで」と題した小冊子を

「研究の入り口と題する末高教授の最終記念講義は、八月二十六日午後六時よりアイヴィホールで行われ、教職員、大学院生、学生、同門会員など多数出席した。末高教授は日本歯科大学を卒業し、厚生省医務局歯科衛生課に入省、同課長補佐を経て昭和五十二年本学口腔衛生学教室助教授に就任。翌五十三年には主任教授に就任、図書館長などを歴



講義を終えた末高教授(中央)を囲む

新木君(東京・4年)SCR P臨床一位  
生命歯学部四年生の新木志門君は、八月に開催された平成二十三年度日本歯科医師会/デンツプライ スチューデント・クリニシャン・リサーチ・プログラム(SCR P)日本代表選抜大会で、臨床部門一位に入賞し、準優勝に選出された。新木君が受賞したのは

学部助教授を経て、昭和五十九年四月に本学解剖学教室第二講座の主任教授に就任、図書館長などを歴任した。

本紙、次号で600号に  
日本歯科大学新聞は昭和二十三年(一九四八)四月に創刊し、次号で六百号となる。当初は学生が主体となつて編集作業を行

「LED照射が口腔内細菌に与える影響」LED照射による歯周疾患の新規予防法の開発をふまえて、優れた研究テーマと、発表時の卓越した英語力が評価された。今回で十七回目になるSCR Pは、学生自身で設定した研究テーマを、英語によるポスタープレゼンテーション形式で競い合う。本年は二十一校が参加した。

号まで一般紙と同じ大きさのブランケット版で発行した。昭和四十七年(一九七二)から小型のタブロイド版となり、大学報として再出発した。カットは、第二十号ごろまで使用した題字。

中山 正彦 略歴：昭和56年3月本学卒業(第70回卒)、同年6月歯科保存学教室第二講座助手、62年4月講師を経て、平成元年4月助教に就任。  
新海 航一 平成二十三年六月一日  
相山 誉夫 平成二十三年八月一日  
末高 武彦 平成二十三年九月一日

## 平成24年度 短期大学入試日程

|      | 試験日       | 募集人数                         |
|------|-----------|------------------------------|
| 東京短大 | 推薦入学試験    | 平成23年11月12日(土) (技)約25 (衛)約45 |
|      | 一般A入学試験   | 24年1月22日(日) (技)約10 (衛)約25    |
|      | 一般B入学試験   | 24年3月10日(土) (技)若干名 (衛)若干名    |
| 新潟短大 | 推薦入学試験    | 平成23年11月6日(日) 約30            |
|      | 一般選抜前期試験  | 24年1月21日(土) 約20              |
|      | 一般選抜後期試験  | 24年3月25日(日) 若干名              |
|      | 社会人後期入学試験 | 24年3月25日(日) 若干名              |

※東京短大の(技)は歯科技工学科、(衛)は歯科衛生学科



# 平成24年度日本歯科大学入学試験要項

生命歯学部 <http://www.tky.ndu.ac.jp> 検索

新潟生命歯学部 <http://www.ngt.ndu.ac.jp> 検索

| 試験区分     | A O 入学試験  | 推薦入学前期試験  | 一般選抜前期入学試験  |  | 一般選抜後期入学試験   |  | 大学入試センター試験利用後期入学試験   |   | 推薦入学後期試験          |
|----------|---|---|---|--|--|--|--|---|-------------------|
| 学部       | 新潟生命歯学部   | 新潟生命歯学部   | 生命歯学部(東京)   | 新潟生命歯学部  | 生命歯学部(東京)  | 新潟生命歯学部  | 生命歯学部(東京)  | 新潟生命歯学部   | 新潟生命歯学部           |
| 募集人員     | 約15名  | 約10名<br>(指定校制・公募制)  | 約68名  | 約20名   | 約25名   | 約10名   | 約10名   | 若干名   | 若干名<br>(指定校制・公募制) |
| 出願期間     | 郵送・窓口とも：<br>23年8月29日(月)～9月8日(木)<br>23年10月24日(月)～11月1日(火)  | 郵送・窓口とも：<br>23年10月24日(月)～11月1日(火)<br>窓口：23年10月31日(月)・11月1日(火)                             | 郵送：24年1月5日(木)～1月25日(木)<br>窓口：24年1月25日(木)・1月26日(木)   | 郵送：24年1月10日(火)～1月25日(木)<br>窓口：24年1月25日(木)・1月26日(木)   | 郵送：24年2月17日(金)～2月28日(火)<br>窓口：24年2月28日(火)  | 郵送：24年2月27日(月)～3月7日(木)<br>窓口：24年3月7日(木)  | 郵送・窓口とも：<br>24年3月14日(水)～3月21日(水)   |   |                   |
| 出願場所・試験場 | 日本歯科大学新潟生命歯学部<br>〒951-8580 新潟県新潟市中央区浜浦町1-8 ☎025-267-1500  |   | 日本歯科大学生命歯学部(東京)<br>〒102-8159 東京都千代田区富士見1-9-20 ☎03-3261-8311   |  | 日本歯科大学生命歯学部(東京)<br>〒03-3261-8311   |  | 日本歯科大学新潟生命歯学部<br>〒951-8580 新潟県新潟市中央区浜浦町1-8 ☎025-267-1500   |   |                   |
| 試験科目等    | 出願資格<br><b>(オープンキャンパス参加が必須、昨年度参加可)</b><br>・目標を定めその実現のために積極的に行動することのできる。目標意識と意欲のある者<br>・医療人にふさわしい高い倫理観や適性を持った者<br>・合格した場合に入学を確約できる者<br>・その他、高等学校卒業者と同等以上の学力があると認められる者等…… | 出願資格(公募制)<br>1) 平成23年3月卒業生並びに平成24年3月卒業見込みの者で、人物・健康とともに優れた学校長が推薦する者<br>2) 合格した場合に入学を確約できる者 | 出願資格(指定校制)<br>1) 平成24年3月卒業見込みの者で、人物・健康とともに優れた学校長が推薦する者<br>2) 評定平均値3.5以上または数学・理科・外国語の3教科の評定平均値3.4以上の者<br>3) 合格した場合に入学を確約できる者 | 学力試験<br>1. 英語：<br>「英語I・II」を出題する<br>2. 数学：<br>「数学I・II」を出題する<br>3. 理科：<br>「物理I・II」、「生物I・II」、「化学I・II」のうちから、1科目を選択する<br>計3科目 | 面接試験<br>受験生本人に対し、個々に行う<br>(注)<br>本学が利用する大学入試センター試験の教科・科目は以下のとおりなので、これらの科目を受験しておくこと<br>外国語<br>(英、独、仏、中、韓から1科目)<br>理科<br>(理総A、理総B、物I、生I、化I、地学Iから1科目)<br>国語・数学<br>(国語、数I、数I・数A、数II、数II・数Bから1科目)<br>計3科目 | 学力試験<br>1. 英語：<br>「英語I・II」を出題する<br>2. 数学：<br>「数学I・II」を出題する<br>3. 理科：<br>「物理I・II」、「生物I・II」、「化学I・II」のうちから、1科目を選択する<br>計3科目 | 面接試験<br>受験生本人に対し、個々に行う<br>(注)<br>本学が利用する大学入試センター試験の教科・科目は以下のとおりなので、これらの科目を受験しておくこと<br>外国語<br>(英、独、仏、中、韓から1科目)<br>理科<br>(理総A、理総B、物I、生I、化I、地学Iから1科目)<br>国語・数学<br>(国語、数I、数I・数A、数II、数II・数Bから1科目)<br>計3科目 | 出願資格(公募制)<br>1) 平成23年3月卒業生並びに平成24年3月卒業見込みの者で、人物・健康とともに優れた学校長が推薦する者<br>2) 合格した場合に入学を確約できる者 |                   |
| 試験日      | 平成23年9月10日(土)   | 英語小テスト、面接試験とも<br>平成23年11月3日(木)  | 英語小テスト、面接試験とも<br>平成23年11月6日(日)  | 学力試験、面接試験とも<br>平成24年2月1日(水)  | 面接試験：平成24年2月5日(日)  | 学力試験、面接試験とも<br>平成24年3月3日(土)  | 面接試験：平成24年3月13日(火)   | 英語小テスト、面接試験とも<br>平成24年3月23日(金)  |                   |
| 合格発表     | 平成23年9月14日(水)に本人に合否通知を速達郵便で発送する   | 平成23年11月4日(金)に本人と高等学校長宛に合否通知を速達郵便で発送する  | 平成23年11月8日(火)に本人と高等学校長宛に合否通知を速達郵便で発送する  | 2月4日(土)午前10時、生命歯学部(東京)に掲示、合格者に入学手続要項を郵送する  | 2月7日(火)午前10時、生命歯学部(東京)に掲示、合格者に入学手続要項を郵送する  | 3月4日(日)午前10時、生命歯学部(東京)に掲示、合格者に入学手続要項を郵送する  | 3月14日(水)午前10時、生命歯学部(東京)に掲示、合格者に入学手続要項を郵送する   | 平成24年3月23日(金)に本人と高等学校長宛に合否通知を速達郵便で発送する  |                   |
| 手続期限     | 平成23年9月22日(木)   | 平成23年11月16日(水)  | 平成23年11月18日(金)  | 平成24年2月14日(火)  | 平成24年2月15日(水)  | 平成24年3月12日(月)  | 平成24年3月22日(木)  | 平成24年3月30日(金)   |                   |

(注) 一般選抜入学試験(前期・後期)・大学入試センター試験利用入学試験(前期・後期)は、生命歯学部(東京)と新潟生命歯学部共通の試験で行い、併願可能。